

■第24回歴史地震研究会開催のお知らせ（第2報）

歴史地震研究会は静岡県下田市との共催で今年(2007年)9月15日(土)～17日(月：休日)に研究会を行います。今回は下田市周辺における1854年安政東海地震津波の史跡等をめぐる野外見学会を計画しております。また、昨年公表されました内閣府中央防災会議災害教訓の継承に関する小委員会「1854安政東海地震・南海地震」の報告会も兼ねて下田の歴史と地震・津波に関する公開講演会を行う予定です。

日程・プログラム

○9月15日(土) 研究発表会 於：下田市市民文化会館

10：30～12：00

I 地震像の復元

1 武村雅之・神田克久

震度データから決まる震源と決まらない震源

2 松浦律子・中村 操

江戸時代の歴史地震の震源域・規模の再検討作業－1718年伊那の地震など8地震について

3 佐竹健治・宍倉正展・行谷佑一・竹内 仁・藤良太郎

元禄関東地震の断層モデルと外房における津波

4 行谷佑一・都司嘉宣・三宅弘恵・瀨瀨一起

1854年安政南海地震震度分布の経験的グリーン関数法による検討

II 災害対応

5 林 能成・木村玲欧

連続震災における災害対応課題の発見～1944年東南海地震・1945年三河地震

6 木村玲欧・林 能成

被災者体験談をもとにした1944年東南海地震における津波避難

13：00～14：15

III ポスター発表

7 中村亮一・島崎邦彦

歴史地震の地震タイプの分類について

8 青島 晃・土屋光永・野嶋宏二・松井孝友・中野幸子

アンケート調査から推定した東南海地震(1944)の三重県南部の津波到着時間

9 長尾 武

大阪の安政津波碑(大地震両川口津波記)について 建立から現在まで(2007年大阪市の文化財に指定)

10 長尾 武

安政南海地震津波の大坂への到達時間、津波の高さについて(古文書を利用して)

11 桜井貴子

記紀から抽出した弥生期の由布岳の活動

14：30～17：00

IV 南海トラフの地震津波

12 蔡 垂功

巨大地震津波が伝えた経験と教訓 ー大地震両川口津浪記を例にー

13 井若和久・田邊 晋・山中亮一・上月康則・村上仁士・松下恭司

徳島県鳴門市周辺における安政南海地震の震度分布

14 田邊 晋・井若和久・山中亮一・上月康則・村上仁士

歴史史料にみる海域における津波の再現性の検証

V 地震被害

15 諸井孝文

2007年能登半島地震の震度と被害－旧版地形図との比較－

16 植村善博

1931年ホークスベイ地震の被害と復興

17 中村 操・松浦律子・南雲秀樹・山田 眞

安政江戸地震の被害について

18 西山昭仁・小松原 琢

宝永地震（1707）における大坂での被害とその地理的要因

19 白石陸弥

寛政西津軽地震・津波による津軽西海岸地域の被害と地形変化

VI 地震に伴う土砂災害

20 井上公夫

善光寺地震（1847）による虫倉山周辺，特に臥雲院付近の土砂災害

21 坂部和夫

天正地震（1586年）時の富山県上平村^{こうざ}楮（現南砺市楮）における大規模山体崩壊について

晩 懇親会 於：伊東園ホテル薬岬（はなみさき）

○9月16日（日）研究発表会・公開講演会 於：下田市市民文化会館

9：00～11：30

VII 地形・地質からみた歴史地震

22 河内一男

越後平野で発生してきた被害地震とその縁辺に配列する活断層との関係

23 宍倉正展・越後智雄・前杵英明・石山達也・永井亜沙香

歴史地震の隆起を記録する紀伊半島南部沿岸の化石ヤッコカンザシ

24 金田平太郎・木下 博久・小松原 琢

ジオスライサー調査に基づく琵琶湖西岸断層帯南部の最新活動時期－1185年元暦京都地震時活動説を裏づける地形・地質学的証拠－

VIII 三陸の地震・津波

25 植竹富一・野口厚子

1933年昭和三陸地震の地震記象と2005年11月15日三陸沖の地震による強震記録の比較

26 渡邊 健・宇佐美龍夫

明治三陸地震における青森県三沢市の被害

27 山下文男

明治三陸津波における綾里白浜での津波駆け上がり地点をめぐる誤解と誤報について

IX 静岡県の地震・津波

28 藤原 治・阿部恒平・池田哲哉・岡村行信・小野映介・佐竹健治・佐藤善輝・Than Tin Aung・

海津正倫・矢田俊文

静岡県掛川市南部の横須賀城址周辺の地層に見られる1707年宝永地震の痕跡

29 羽鳥徳太郎

伊豆半島沿岸の津波累積エネルギー分布

30 小野友也・都司嘉宣

元禄地震津波(1703)の伊豆半島東海岸での遡上到達点の詳細調査

31 都司嘉宣・小野友也

元禄地震(1703)の神奈川県・静岡県での詳細震度分布

13:00~15:30

公開講演会「下田の津波とこれからの防災」(静岡県後援)

- ・佐々木忠夫「下田の歴史と地震津波」
- ・羽鳥徳太郎「伊豆半島沿岸地域における歴史津波の波高分布」
- ・西山昭仁「安政東海地震・南海地震の教訓」
- ・都司嘉宣「安政東海地震津波(1854)に学ぶ津波の法則と教訓」

夕方 歴史地震研究会総会

○9月17日(月:休日)

野外見学会「安政東海地震津波の史跡をたずねて」

下田市観光ボランティア協会のご協力を得て、徒歩で市内の史跡を訪ねます。見学会は午前中で終了の予定です。

<注意事項>

1. 予稿原稿の送付先

発表者は、予稿原稿をA4用紙1枚にまとめ、7月末日までにEメールまたは郵便にてお送りください。編集の都合上、可能な方はEメールにWord等のファイルを添付してお送りください。

予稿原稿の送付先：林 豊(Hayashi Yutaka)

〒305-0052 つくば市長峰1-1 気象研究所 地震火山研究部

電話029-852-9206 Eメールyhayashi@mri-jma.go.jp

2. 宿泊について

会場から約1kmの下田港近くにあり、懇親会の会場となる伊東園ホテル薬岬(はなみさき)(〒415-0015 下田市武ガ浜6-12, 電話0558-23-3111 ファックス0558-23-0424)に団体で予約しております。宿泊料金は1室2名以下の場合1泊2食で7800円、1室3名以上(和室)の場合は1泊2食で6800円です。懇親会参加費はホテル宿泊者割引価格となりますので、懇親会に参加される方は、当ホテルに宿泊されるとお得です。ホテル宿泊の申し込みは小松原がまとめて行います。宿泊日・個室希望か相部屋希望か、また相部屋希望の方は希望条件(禁煙・喫煙・同室希望者など)を書き添えて7月末までに下記までメールまたはファックスでお申し込みください。現在のところ、個室宿泊希望者全員の個室を確保することは困難となっております。大変申し訳ありませんが、相部屋にてのご宿泊をお願いいたします。他の宿泊施設に宿泊希望の方は、下田市観光協会(〒415-8505 静岡県下田市外ヶ岡1-1 TEL:0558-22-1531 FAX:0558-22-1533)などを参考に各自でお申し込みください。観光シーズンのため、早めに予約されることをお勧めします。

伊東園ホテル薬岬(はなみさき) 宿泊申し込み先：小松原琢(Komatsubara Taku)

〒305-8567 つくば市東1-1-1中央第7 産業技術総合研究所 地質情報研究部門

電話029-861-3839 ファックス029-861-3653 Eメールkomatsubara-t@aist.go.jp

3. 懇親会・巡見・昼食の申し込み

7月末日までに下記までお申し付けください.

小松原琢(Komatsubara Taku)

〒305-8567 つくば市東1-1-1中央第7 産業技術総合研究所 地質情報研究部門

電話029-861-3839 ファックス029-861-3653 Eメールkomatsubara-t@aist.go.jp

4. その他

講演会場や周辺には十分な駐車場がありません。車で来場予定の方はご自分で駐車場の確保をお願い致します。

以上のご案内は歴史地震研究会ホームページ(<http://sakuya.ed.shizuoka.ac.jp/rzisin/>)でもお知らせしております。